

## 総合人文科学研究センター 活動報告

(2018年4月1日～2019年3月31日)

**DC セミナー**

2018年4月11日(水) 早稲田大学33号館第1会議室

文学研究科生のための《日本学術振興会特別研究員(DC)》応募チャレンジセミナー

キャリア初期研究者支援の一環として、「文学研究科生のための《日本学術振興会特別研究員(DC)》応募チャレンジセミナー」(DCセミナー)を初めて企画・開催した。本セミナーでは、学振特別研究員への採用経験がある文学学術院講師(任期付)・助教・助手からアドバイスや個別相談の機会が設けられ、学振特別研究員DCへの応募を検討している文学研究科生約30名の参加を得た。

はじめに 総合人文科学研究センター所長 上野和昭

第1部 DC応募に際しての諸注意(文学学術院事務所より)

第2部 特別研究員経験者からのアドバイス

文学学術院 総合人文科学研究センター 助手 山田綾乃(専門「考古学」/平成26年度DC2採用者)

文学学術院 総合人文科学研究センター 助教 常田槇子(専門「日本文学」/平成26年度DC2採用者)

第3部 特別研究員経験者の研究者との個別相談会『DCの先輩に聞いてみよう!』

文学学術院 講師 熱田敬子(専門:「社会学」/平成21年度DC2採用者)

文学学術院 助教 日尾野裕一(専門:「西洋史学」/平成24年度DC2採用者)

文学学術院 助手 山田綾乃(専門:「考古学」/平成26年度DC2採用者)

文学学術院 助教 常田槇子(専門:「日本文学」/平成26年度DC2採用者)

文学学術院 助手 吉原将大(専門「心理学」/平成28年度DC2採用者)

**ランチセミナー**

2018年5月9日(水)・7月25日(水)

第1回～2回 ランチセミナー 早稲田大学33号館第1会議室

「ランチセミナー」では毎年、当センターが目指す人文学領域における活発な横断研究の促進を図るため、当該年度に文学学術院に着任した教授、准教授、専任講師らに研究紹介を頂いている。本年度は全2回のセミナーを設けた。

第1回登壇者(5月9日)

阿比留久美 准教授(教育学、社会教育、青年期教育、ソーシャルワーク)

伊藤比呂美 教授(作詩)

田中史生 准教授(日本古代史、国際交流史)

和田琢磨 教授(日本中世文学)

第2回登壇者(7月25日)

川瀬由照 教授(日本彫刻史、東洋美術史、文化財学、文化財行政学、博物館学)

樽本英樹 教授(国際社会学、ヨーロッパ社会論、比較移民政策論)

中澤達哉 准教授(東欧近世・近代史)

松前もゆる 准教授(文化人類学、労働移動研究、ジェンダー論、バルカン地域研究)

**2018年度 総合人文科学研究センター年次フォーラム**

2018年12月8日(土)、9日(日)

国際シンポジウム「東アジア文化交流—呉越・高麗と平安文化—」

【主催】早稲田大学総合人文科学研究センター／同研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」  
／中国・浙江工商大学東亜研究院／韓国・蔚山大学校人文大学日本語日本学科／早稲田大学日本宗教文化研究所／早稲田大学日本古典籍研究所／日本学術振興会科学研究費助成事業「院政期・摂関期の宗教思想研究—菅原文時と永観を起点に—」基盤研究(C) (一般) 課題番号 15K02087

【共催】早稲田大学多元文化学会／早稲田大学文化構想学部多元文化論系

【後援】早稲田大学総合研究機構

12月8日(土) 早稲田大学27号館地下2階小野記念講堂

〔開会式〕

開会の辞 吉原浩人(早稲田大学日本宗教文化研究所所長・同文学学術院教授)

祝 辞 魯成煥(蔚山大学校人文大学日本語日本学科教授)

祝 辞 江静(浙江工商大学東方語言文化学院・東亜研究院院長／教授、日本宗教文化研究所招聘研究員)

〔基調講演〕

司会・コーディネーター

吉原浩人(早稲田大学日本宗教文化研究所所長・同文学学術院教授)

河野貴美子(早稲田大学日本古典籍研究所所長・同文学学術院教授)

趣旨説明 吉原浩人・河野貴美子

(1) 瀧朝子(大和文華館学芸部係長)

「線刻鏡(鏡像)の受容と展開—呉越・遼・高麗と日本—」

(2) 魯成煥(蔚山大学校人文大学日本語日本学科教授)

「仏画からみた高麗と日本の雷神」

(3) 王勇(浙江大学人文学院教授、日本宗教文化研究所招聘研究員)

「入唐・渡天を執行した日本僧転智」

(4) 後藤昭雄(大阪大学名誉教授、日本古典籍研究所招聘研究員)

「呉越と平安朝の漢学」

〔パネルディスカッション〕

基調講演者全員登壇

12月9日(日) 早稲田大学戸山キャンパス33号館3階第一会議室

〔研究発表1〕

司会：李美子(四天王寺大学人文社会学部准教授、日本宗教文化研究所招聘研究員)

(1) 洪性珉(早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター助教)

「遼宋海上交流の実態について—遼・高麗・日本における宋磁出土傾向の比較を手掛かりに—」

(2) 久保輝幸(浙江工商大学東方語言文化学院副教授)

「江浙地方と日本におけるボタン栽培の始まり—呉越国からの伝来の可能性—」

〔研究発表2〕

司会：洪聖牧(蔚山大学校人文大学日本語日本学科助教授)

(1) 江静(浙江工商大学東方語言文化学院・東亜研究院院長／教授、日本宗教文化研究所招聘研究員)

「呉越国と日本の交流に関する日中研究の諸問題」

(2) 崔鵬偉(早稲田大学文学研究科博士後期課程2年、日本宗教文化研究所RA)

「『往生西方浄土瑞応刪伝』と平安期往生伝—臨終描写における異同を中心に—」

〔研究発表3〕

司会：久保輝幸（浙江工商大学東方語言文化学院副教授）

(1) 洪聖牧（蔚山大学校人文大学日本語日本学科助教授）

「日韓の医療交流について—高麗朝廷による医者派遣要請をめぐって—」

(2) 七田麻美子（埼玉大学基盤教育研究センター准教授、日本宗教文化研究所招聘研究員）

「菅原文時「為右丞相贈大唐呉越公書状」をめぐるとの考察」

(3) 吉原浩人（早稲田大学文学学術院教授、日本宗教文化研究所所長）

「呉越・宋・高麗への返書・返牒と自讃—大江家伝来の外交文書と対外意識—」

〔閉会式〕

会議総括 河野貴美子（早稲田大学日本古典籍研究所所長・同文学学術院教授）

閉会の辞 陣野英則（早稲田大学文学学術院副院長・同総合人文科学研究センター所長）

**英語論文執筆セミナー**

2018年12月12日（水） 早稲田大学戸山キャンパス 31号館 303教室

講師：ライアン・スティーブン（RYAN Stephen）教授（早稲田大学文学学術院）

参加者：早稲田大学大学院生

キャリア初期研究者支援の一環として、英語論文執筆セミナーをDCセミナーと合わせて、本年度初めて企画・開催した。本セミナーは、若手研究者による英語論文執筆の支援を目的として開催され、大学院生約15名の参加を得ることができた。

**早稲田大学比較文学研究室**

比較文学年誌 第55号の編集・発行（2019年3月25日）

《論文》

石井香絵（招聘研究員）

牧野克次の画業—京都・ニューヨーク時代を中心に

《論文》

堀江広行（ロシア思想史研究会）

昭和二一年刊行の嶋野三郎翻案によるL・P・カルサーヴィンの哲学的対話「懐疑、科学、信仰について」

—そのモチーフと経緯

《論文》

小俣智史（文学学術院非常勤講師）

フョードロフ『共同事業の哲学』翻訳をめぐって

《論文》

小林茂（早稲田大学名誉教授）

『悲哀（エミール・ゾルハーレン）』の翻訳—上田敏にとってのその意義

《特別寄稿》

連東孝子

『蕪村句集』英訳の軌跡—W. S. マーウィンの英語に籠る蕪村の心と声

「投稿要領」「活動記録」「執筆者紹介」「彙報」

2018年12月10日（月） 18:15～19:30 文学学術院 382教室

【主催】公開講演会（秋季）

吉増剛造（詩人）

詩を縫い、書物を藤る—『火ノ刺繍』から全詩集へ

2018年5月26日(土) 14:00~16:30 文学学術院第10会議室

【共催】月例発表会(第222回)(ロシア思想史研究会との共催)

「ロシア思想紹介の先駆者 嶋野三郎」

堀江広行(ロシア思想史研究会)

「嶋野三郎氏によるL・P・カルサーヴィンの宗教論対話『疑念、科学、信仰について』の翻案について」

小俣智史

「N・F・フォードロフ『共同事業の哲学』の翻訳(一九四三年)について(底本となったハルピン版の話を中心に)」

2018年7月25日(水) 14:40~17:00 文学学術院第5会議室

【主催】月例発表会(第223回)

丹尾安典(研究員)

翻訳と視覚 | 訳画のことなど

小林茂(早稲田大学名誉教授)

上田敏訳『悲哀(ゼルハアレン)』の原典、発見と調査の報告

【学会】日本比較文学会東京支部例会

日本比較文学会東京支部2019年1月例会

日時:1月26日(土) 14時より

会場:文学学術院第10会議室

①中垣恒太郎(専修大学)

題目:「放浪者像」の比較文学—アメリカ大衆文化の原風景を探る—

司会:宗形賢二(日本大学)

②【特別研究発表】

川本皓嗣(東京大学名誉教授)

題目:pun(しゃれ)の効用—脚韻と頭韻/掛詞と縁語—

司会:小林茂(早稲田大学名誉教授)

日本比較文学会東京支部2019年3月例会

日時:3月16日(土) 14時より

会場:文学学術院第10会議室

【講演】小野二郎のウィリアム・モリス研究

講師:川端康雄(日本女子大学)

司会:庄子ひとみ(順天堂大学)

### トランスナショナル社会と日本文化

2018年7月21日(土)・22日(日) 早稲田大学大隈講堂

【共催】朝河貫一没後70年記念シンポジウム「朝河貫一—人文学の形成とその遺産—」

\*私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアの人文学の危機と再生」主催

\*RILAS研究部門「角田柳作記念国際日本学研究所」共催

\*朝河貫一研究会・朝河貫一博士顕彰協会・福島民報社後援

〈7月21日(土)〉

開会の辞 李成市(早稲田大学理事)

趣旨説明 甚野尚志（早稲田大学教授）

第1部 歴史学者としての朝河貫一

司会 武藤秀太郎（新潟大学准教授）

報告1：近藤成一（放送大学教授）

「朝河貫一の南九州中世史研究」

報告2：甚野尚志

「朝河貫一の1930年代以降の歴史研究」

報告3：海老澤衷（早稲田大学教授）

「『大化改新の研究』から115年」

報告4：浅野豊美（早稲田大学教授）

「朝河貫一の法制史研究と象徴天皇制の起源」討論

〈7月22日（日）〉

第2部 朝河貫一の東アジア研究

司会 海老澤衷

報告1：増井由紀美（敬愛大学教授）

「ウィリアムJ. タッカーの大学改革と朝河貫一の役割」

報告2：富田（松谷）有美子（清泉女子大学附属図書館司書）

「朝河貫一と日本図書館協会」

報告3：武藤秀太郎（新潟大学准教授）

「朝河貫一と近代中国」

討論

第3部 朝河貫一と国際平和の提唱

司会 山岡道男（早稲田大学教授）

報告1：山内晴子（朝河貫一研究会理事）

「朝河貫一の戦後構想「民主主義」とOpen Letter（回覧書簡）の役割」

報告2：陶波（イエール大学大学院生）

「社会学と社会的福音—太平洋問題調査会（IPR）とプロテスタント宣教師ネットワークの進歩主義的関心」

報告3：中村治子（イエール大学東アジア図書館専門司書）

「朝河貫一と国際補助語協会」

討論

閉会の辞 海老澤衷

※シンポジウムの内容は、『朝河貫一—人文学の形成とその遺産—』（吉川弘文館、2019年）として刊行。

2018年9月5日（水） 早稲田大学戸山キャンパス33号館第1会議室

【主催】シンポジウム「荘園調査とweb公開—備中国新見荘から美濃国大井荘へ—」

\*科学研究費基盤研究(A)「既存荘園村落情報のデジタル・アーカイブ化と現代のIT環境下における研究方法の確立」共催

司会：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

第1部 荘園現地調査と多層荘園記録システム

報告1：山田仁生（早稲田大学大学院博士後期課程）

「小字図・水路図のレイヤー活用と大井荘」

報告2：久下沼譲（早稲田大学大学院研究生）

「航空写真図の活用と荘園復原」

報告3：土山祐之（早稲田大学大学院博士後期課程）

「灌漑と水害から荘園を見る」

報告4：赤松秀亮（早稲田大学大学院博士後期課程）

「都市化した荘園故地で中世村落をさがす」

第2部 画像・地形図・地理情報ソフトの応用的活用

報告1：高橋傑（慶応義塾普通部教諭）

「地租改正大絵図と近世・近代の耕地」

報告2：鈴木瑛莉（esri ジャパン）

「歴史・考古学分野における GIS の活用について」

報告3：黒田智（金沢大学教授）

「合戦図屏風の村落景観—杭瀬川合戦と笠縫堤—」

2019年3月16日（土） 早稲田大学 36号館 382教室

【主催】シンポジウム「荘園研究の現在と未来」

\*科学研究費基盤研究(A)「既存荘園村落情報のデジタル・アーカイブ化と現代のIT環境下における研究手法の確立」共催

第1部 個別報告

報告1：高木徳郎（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

「大学院ゼミによる荘園調査の意義—紀伊国鞆淵荘の調査—」

報告2：堀祥岳（高山市立高山陣屋学芸員）

「照葉樹林の信仰・赤米の里—対馬豆蔻での取り組み—」

報告3：下村周太郎（東京学芸大学准教授）

「水利社会論と水辺環境論とのあいだ—弓削島荘／上桂荘で考える—」

報告4：似鳥雄一（東京大学史料編纂所PD）

「広大な荘域の調査を、新たな視点と技術で一備中国新見荘をひらく—」

報告5：三浦恵子（早稲田大学非常勤講師）

「バリ島のスパックと世界遺産」

第2部 最終講義

海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

「『荘』と Villa —東大寺とサン・ジェルマン・デ・プレ修道院—」

### グローバル化社会における多元文化学構築

2018年4月5日（木） 早稲田大学 33号館第10会議室

【共催】第2回BKASワークショップ「日英を中心とした定期刊行物、雑誌、新聞広告の言説形成」

\*科学研究費「『書籍宣伝広告』の歴史的言説形成—英日を対象とした広告理論からのアプローチ—」（課題番号17K17679）主催

\*早稲田大学多元文化学会、早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

講演者：デヴィッド・フィンケルシュタイン（英国エディンバラ大学教授）

パネリスト：ピーター・ロビンソン（日本女子大学准教授・本ワークショップ代表）

ロジャー・ロビンズ（東京大学准教授）

ピーター・オコーノ（武蔵野大学教授）

由尾瞳（早稲田大学文学学術院准教授）

渡辺愛子（早稲田大学文学学術院教授）

2018年7月7日(土) 早稲田大学36号館382教室

【共催】シンポジウム「ルイス・フロイスの時代と東アジア」

\*早稲田大学多元文化学会主催

\*早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

報告者：伊川健二(早稲田大学文学学術院教授)

「シンポジウム趣旨説明」

「フロイス史料研究事始」

小澤奈那(早稲田大学大学院文学研究科修士課程)

「大友親家の受洗に関する一考察」

岡本真(東京大学史料編纂所助教)

「フロイス『日本史』の史料的价值—天文・永禄年間の事例を中心に—」

2018年10月27日(土) 早稲田大学33号館第10会議室

【共催】早稲田大学多元文化学会秋期大会研究発表会

\*早稲田大学多元文化学会主催

\*早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

発表者：太原達朗(早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程)

「大学入試英語問題における4技能外部試験の使用に関する3つの疑問に答える一言語テスト  
ティング研究の知見から—」

発表者：櫻本香織(早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学コース博士後期課程)

「径山寺台子伝来説の背景—茶の湯の起源をめぐって—」

### イメージ文化史

【主催】連続ワークショップ「マンガの体験、メディアの体験」

(コーディネーター：鈴木雅雄教授)

第1回(10月26日)：マンガとスクリーン

中田健太郎(日本大学他非常勤講師)

ドミニク・チェン(本学准教授)

第2回(12月1日)：マンガと写真・映画

三輪健太郎(東京工芸大学他非常勤講師)

増田展大(立命館大学講師)

【主催】シンポジウム「芸術と政治社会のダイナミズム Art & Socio-Political Dynamism」

(コーディネーター：橋本一径教授)

日時：2018年9月22日(火) 14:00-17:00

場所：早稲田大学戸山キャンパス33号館第1会議室

講演者：ロミー・ゴラン(ニューヨーク市立大学教授)「20世紀の芸術と政治：四つのエピソード」

サラ・ウィルソン(コートールド美術史研究所教授)「マルチェッロ・ブロードスキー：思想の炎」

司会：松井裕美(名古屋大学特任助教)

コメンテーター：橋本一径(本学教授)

**東アジアの人文知**

2018年7月25日 早稲田大学 33号館第10会議室

【主催】第7回国際フォーラム「越境する人文知」

10名の訪問学者、留学生の学術報告と討論を行った

2018年10月20日、21日 早稲田大学 33号館第1会議室

【共催】国際シンポジウム「新世紀中国研究の挑戦——明治維新150年、改革開放40年」

\*日本現代中国学会主催

趣旨説明：千野拓政（早稲田大学）

講演：王晓明（上海大学）、賀照田（中国社会科学院）、伊藤亜聖（東京大学）、貴志俊彦（京都大学）

コメント、パネルディスカッション：鈴木将久（東京大学）、劉傑（早稲田大学）

2019年1月23日 早稲田大学 33号館第10会議室

【主催】第8回国際フォーラム「越境する人文知」

3名の留学生の学術報告と討論を行った

2018年10月19日 早稲田大学

【若手研究者の育成】若手研究者育成のためのシンポジウム「21世紀新世代の中国研究」

報告：5名の大学院生

講評：王晓明（上海大学教授）、賀照田（中国社会科学院研究員）

2018年11月3日 中国・南開大学

【若手研究者の育成】第3回三校工作坊（大学院生の国際シンポジウム）

《东亚最新文化现象与文化研究趋势》

**行動・社会・文化に関する多角的アプローチ**

2018年5月19日（土）

【共催】教養講座「思春期以降の自閉スペクトラム症者の理解と支援」

講演者：大島郁葉（千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任講師）

\*早稲田大学心理学会と共催

2018年6月23日（土）

【共催】シンポジウム「発達障害の医療・教育・療育の最前線——連携と今後の方向性に向けて」

コーディネーター・司会：坂爪一幸（早稲田大学教育学部教授）

\*早稲田大学心理学会主催

2018年9月29日（土）

【共催】公開講演会「西野流呼吸法のメソッドと現象は人体科学にいかなるヒントを与えるか——呼吸器専門医の立場から呼吸とFascia/Somaを考える」

講演者：貫和敏博（東北大学名誉教授・医師）

\*人体科学会、早稲田大学心理学会と共催

2018年11月5日（月）

【主催】2018年度第1回勉強会



1. Eriko Matsuki (Department of Psychology, The University of Western Ontario, Canada)  
Title: “Conceptual Representation in Bilinguals: A Feature-Based Approach”
2. 薛俊毅（早稲田大学大学院文学研究科）  
タイトル：「漢字熟語における音韻変化と音韻表象の本質——促音化と連濁を対象とする研究」

**現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究**

2018年4月24日（火） 早稲田大学 39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会との共催

野坂真（早稲田大学文学学術院助手）

「地方での災害復興過程における被災構造と地域再建—岩手県大槌町における住民層ごとの地域生活モデルの再構築に注目して—」

2018年5月29日（火） 早稲田大学 39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会との共催

長田攻一（早稲田大学名誉教授）

「郊外地域における高層マンション自主防災組織の特質と課題—千葉県佐倉市ユーカーが丘4丁目自主防災委員会を事例として—」

2018年6月19日（火） 早稲田大学 39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会との共催

浅野幸子（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、専修大学非常勤講師）

「地域防災と地域福祉をめぐる現状と課題—被災者支援の質を踏まえて—」

2018年7月31日（火） 早稲田大学 39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会との共催

川副早央里（東洋大学社会学部助教）

「復興期における地域イメージの再編—災害記録・記憶の継承の活動から—」

2018年11月28日（水） 早稲田大学 39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*早稲田大学地域社会と危機管理研究所との共催

浦野正樹（早稲田大学文学学術院教授）

「複数拠点との繋がりの中で生きる—都市社会学のパースペクティブを手がかりに—」

吉川忠寛（防災都市計画研究所所長）

「和歌山県田辺市文里地区における津波防災計画づくりの取り組み現況と課題—被災地の教訓を未災地に生かす方法論の構築に向けて—」

2018年12月8日（土） 早稲田大学 36号館 382教室

【共催】シンポジウム「あれから8年～わたしたちはフクシマを忘れない—〈二点居住〉という生活のかたち—」

\*シニア社会学会との共催

\*早稲田大学地域社会と危機管理研究所後援

総合司会：長田攻一（シニア社会学会理事、早稲田大学名誉教授）

第1部 「人と原発 2018年シンポジウム版」〈板倉真琴制作〉映画上映

第2部 座談会とパネル・ディスカッション

インタビュー進行：川副早央里（東洋大学社会学部社会学科助教）

松村治（新宿NPOネットワーク協議会理事、本研究部門招聘研究員）

話題提供：大坊雅一（浪江町出身、東雲住宅避難者自治会「東雲の会」事務局長）

二俣公子（富岡町出身、東雲住宅避難者自治会「東雲の会」役員）

田中美奈子（富岡町出身、いわき市在住富岡町民自治会『すみれ会』代表）

コメンテータ：伊藤まり（福島県浪江町出身）、浦野正樹（本研究部門代表）

2019年1月21日（月）早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会・早稲田大学地域社会と危機管理研究所との共催

小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部専任講師）

「日本の災害復興は何を見て、何を見なかったのか—『復興とは何かを考える連続ワークショップ』の議論から—」

2019年3月10日（日）岩手県上閉伊郡大槌町中央公民館安渡分館ギャラリー

【共催】「安渡地域アーカイブ展」（映像資料2点、図表資料3点、写真資料120点の展示）

\*安渡地域アーカイブ実行委員会との共催

2019年3月15日（金）早稲田大学39号館第5会議室

【共催】研究部門研究会

\*シニア社会学会・早稲田大学地域社会と危機管理研究所との共催

野坂真（早稲田大学助手）

「災害復興の次の段階への移行期における地域文化の再構築—岩手県大槌町におけるヒアリングと地域アーカイブ活動から復興とは何かを考える—」

2019年3月18日（月）早稲田大学33号館第11会議室・第10会議室

【共催】イベント「震災問題研究交流会（第5回）」

\*日本社会学会震災問題情報連絡会、震災問題研究ネットワークとの共催

第1セッション「災害時の緊急対応／ジェンダー視点を取り入れた防災とは」

第2セッション「震災の記憶／コミュニティの防災活動／原発被災者たちの復興への歩み」

第3セッション「書評セッション『被災地から未来を考える』」

第4セッション「災害復興のプロセスと日常生活の変容」

### 知の蓄積と活用にもつた方法論的研究

2018年7月14日（土）早稲田大学第1会議室

【共催】第70回早稲田社会学会2018年度大会

\*早稲田社会学会共催

〈一般報告〉

大貫恵佳（駒沢女子大学）「『権力の空白』と民主主義— G. アガンベンの主権理論から考える」

河野昌広（関東学院大学）「四国遍路記のナラティブ研究」

〈シンポジウム：社会学研究と社会学教育〉

報告

江原由美子（横浜国立大学）「『社会学分野の参照基準』とは何か？——『大学教育の質保証』の動向との関連で」

大久保孝治（早稲田大学）「大学生が社会学と出会うとき」

藤田結子（明治大学）「『周縁』の周縁で教える——米英日の比較、および他学部での社会学教育について」

討論者：岡本智周（早稲田大学）・鈴木洋仁（事業構想大学院大学）

司会：石倉義博（早稲田大学）

2018 New Delhi, July 7, 8:30-10:00

【国際共同研究報告】 AAS-in-Asia Conference,

“Mining Grassroots Archives: The Japanese Experience” (#405662)

1. Chelsea Szendi Schieder (Assistant Professor, Aoyama Gakuin University)

Title: From coal miner's wife to historical actor: The personal archive of Matsuo Keiko.

2. MIYAMOTO Takashi (Assistant Professor, the University of Tokyo Archives)

Title: Excavating memories through HTML: The internet and the personal archive of Maekawa Toshiyuki.

3. SHIMAZAKI Naoko (Professor, Waseda University)

Title: Making Available Local Industrial History and Memories: The Archiving Process during a Coal Mining Closure in Kushiro.

4. Bernard Thomann (Professor, Institut National des Langues et Civilisations Orientales)

Title: Occupational disease recognition process and mining archives.

Chair: Dhiraj Kumar Nite (Assistant Professor, Ambedkar University Delhi)

Discussant: Kuntala Lahiri-Dutt (Professor, Australian National University)

【論文】『WASEDA RILAS JOURNAL』No.6（2018年10月）

特集：上記国際共同研究の報告とディスカッションをふまえて、Special Issue 7としてIntroduction、4報告論文、1コメント論文を掲載した。

一般投稿：

1. 笠原良太（早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程）

「1970～80年代における炭鉱閉山と青年たちの進路危機——中学3年生の作文分析」

2. 清水拓（早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程）

「太平洋炭鉱労働組合『5分間ニュース』からみる戦後日本石炭産業の収束過程」

2018年11月16日（金） 釧路市立中央図書館

【個別アーカイブズとの連携事業】 釧路市生涯学習課担当課長らと具体的検討会

参加者：嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院教授）

佐藤富喜雄（太平洋炭鉱管理職釧路倶楽部顧問）

2019年1月31日（木） 早稲田大学33号館第1会議室

【主催】第12回部門研究会

「東日本大震災後の岩手県津波被災地域におけるアーカイブ活動の経緯と課題——大槌町安渡地域アーカイブプロジェクトを中心事例として」

報告者：野坂真氏（招聘研究員、早稲田大学文化構想学部助手）

コメンテーター：川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所）

ディスカッション・モデレーター：中澤秀雄氏（中央大学）

2019年2月9日（土） 釧路市立博物館

【個別アーカイブズとの連携事業】 釧路市生涯学習課担当課長らと具体的検討会

参加者：嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院教授）

石川孝織（釧路市立博物館専門学芸員、本部門招聘研究員）

### 角田柳作国際日本学研究所

2018年7月4日（水） 早稲田大学小野記念講堂

【共催】《対談》柴田元幸氏 & マイケル・エメリック准教授—日本文学としての翻訳文学—

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催

\* 早稲田大学文化推進部文化企画課共催

2018年7月13日（金） 早稲田大学33号館第11会議室

【共催】Christina Yi 准教授（UBC）講演会

「植民地化される言語 近代日本・朝鮮における文化生産と言語政治学」

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催

2018年7月14日（土） 早稲田大学26号館多目的講義室

【主催】シンポジウム「日本戦前映画論—映画理論を再発見する—」

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、早稲田大学朝河貫—フェロウシップ、早稲田大学大学院文学研究科演劇映像学コースも同じく主催

2018年7月21日（土）、22日（日） 早稲田大学大隈記念講堂

【共催】朝河貫—没後70年記念シンポジウム「朝河貫—人文学の形成とその遺産—」

\* 早稲田大学・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業：「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアの人文学の危機と再生—」主催

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点共催

\* 朝河貫—研究会、朝河貫—博士顕彰協会、福島民報社後援

2018年8月2日（金） 早稲田大学国際会議場第1会議室

【主催】Columbia University Open Classroom@Waseda

“Participatory Culture and Creative Remix: From Contemporary Manga”

by Haruo Shirane Professor at Columbia University

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催

2018年9月14日（金） 早稲田大学33号館16階第10会議室

【共催】トーマス・ガウバッツ助教授（ノースウェスタン大学）講演会

「幻想としての通—洒落本にみえるメディアと身分」

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催

2018年9月25日（火） 早稲田大学33号館16階第10会議室

【共催】上原麻有子教授（京都大学）講演会

「想像する翻訳—近代日本哲学の成長をたどって—」

- \* 早稲田大学・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業：「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアの人文学の危機と再生—」主催
- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点共催

2018年10月12日（金） 早稲田大学大隈記念講堂小講堂

【主催】アーサー・ビナード氏講演会

「知らなかった、ぼくらの日本語—アメリカ生まれの詩人がこれからの列島の言葉を語る—」

- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、早稲田大学文化推進部文化推進課共催

2018年10月15・16日（月・火） UCLA

【共催】“2 Days of Noh”（英語で演じる能とは？公演とワークショップ）

- \* 柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト主催
- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点共催

2018年10月19日（金） 早稲田大学33号館3階第1会議室

【共催】出版記念対談イベント：ジェイ・ルービン（ハーバード大学名誉教授）& 柴田元幸（東京大学名誉教授）

“Putting Together a new Anthology: Book Launch Event for the Penguin Book of Japanese Short Stories”

- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催
- \* 総合人文科学研究センター研究部門「創作と翻訳の超領域的研究」共催

2018年11月26・27日（月・火） 早稲田大学小野記念講堂他

【共催】早稲田大学におけるバーミンガム大学デー

- \* 早稲田大学文学学術院、バーミンガム大学シェイクスピア研究所主催
- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、早稲田大学演劇博物館・演劇映像学研究拠点共催

2018年11月27日（火） 早稲田大学8号館3階会議室303-305

【共催】Tiffany Stern 教授講演会

“Tragedy and Performance in the Time of Shakespeare”

- \* 早稲田大学文学学術院主催
- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点共催

2019年1月20日（日） 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】国際シンポジウム「古代史料に見る歴史と文学」

- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催
- \* 早稲田大学奈良美術研究所、早稲田大学日本古典籍研究所共催

2019年1月25日（金） 早稲田大学33号館第10会議室

【共催】ワークショップ「フランク・ホーレー研究の基盤と展望—遺品資料活用の未来像—」

- \* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点主催

2019年3月1～3日（金～日） UCLA

【共催】“The Art of the Benshi”（弁士による上映イベントと学術シンポジウム）

- \* 柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト主催

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点共催

2019年3月13日～15日（水～金） UCLA

【主催】 UCLA 国際シンポジウム

“The Women in the Story: Female Protagonists in Japanese Narratives”

\* スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト共催

#### 現代社会における「想像力」の総合的研究

【主催】 第1回研究会

日時：2018年4月20日（金） 18時30分から20時15分

会場：戸山キャンパス 33号館16階、第10会議室

参加者：約10名

話題提供者：森由利亜先生（本学教授）

題目：老荘思想における「想像力」—生きた象を思い描く力

【主催】 第2回研究会

日時：2018年6月22日（金） 18時30分から20時30分

会場：戸山キャンパス 33号館16階、第10会議室

参加者：12名

話題提供者：沖清豪先生（本学教授）

題目：現代学校教員に求められる「想像力」—それは人文系学部で養成可能か？—

【主催】 第3回研究会

日時：2018年10月12日（金） 18時30分から20時10分

会場：戸山キャンパス 33号館16階、第10会議室

参加者：10数名

話題提供者：竹中均先生（本学教授）

題目：ファンタジーと自閉症

【主催】 第4回研究会

日時：2019年1月24日（木） 18時30分から21時00分

会場：戸山キャンパス 31号館2階、203教室

参加者：37名

話題提供者：宍戸大裕氏（映画監督）

コーディネータ：岡部耕典先生（本学教授）

テーマ：〈知的障害者〉と／への『想像力』

重度知的障害者の自立生活を描いたドキュメンタリー映画「道草」の特別上映、フロアを巻き込んだディスカッション

#### 創作と翻訳の超領域的研究

【主催】 ワークショップおよび講演会

「早稲田大学総合人文科学研究センター 新部門「創作と翻訳の超領域的研究」発足記念イベント 作家・バーミンガム大学上級講師ダン・ヴィレータ氏を迎えて」

2018年5月28日(月) 10:40-12:40 第10会議室(33号館16階)

ワークショップ「クリエイティブ・ライティングの可能性」 Workshop: Possibilities for Creative Writing ダン・ヴィレータ氏によるJCuIP(国際日本文化論プログラム)学生への授業とディスカッション

2018年5月29日(火) 16:30-18:00 第10会議室(33号館16階)

講演「なぜ書くのか?—夜半を過ぎて思うこと」 Talk: 'Why write?', and other questions for the wee small hours' ダン・ヴィレータ氏による講演と質疑

【共催】シンポジウム

(主催:スーパーグローバル大学創成支援事業 国際日本学拠点、共催:本部門および角田柳作記念国際日本学研究所)

10月19日(金) 14:25-16:25 @戸山キャンパス33号館、第1会議室

Putting Together a New Anthology: Book Launch Event for the Penguin Book of Japanese Short Stories

日本短編小説アンソロジー *Penguin Book of Japanese Short Stories* 出版記念、編者ジェイ・ルービン氏と柴田元幸氏(アメリカ文学)との対談、ディスカッション

【共催】講演・実演会(多元文化論系主催・本部門共催)

2018年10月23日(火) 16:30-18:00 早稲田大学大隈タワー(26号館)多目的講義室B104

「母語を超えて落語を演ずる—三遊亭じゅうべえ氏(スウェーデン人落語家、三遊亭好楽師匠弟子)を迎えて」  
Performing Comedy Beyond the Mother Tongue - Lecture and Rakugo Performance by Sanyutei Jubei (Swedish rakugoka, Sanyutei Koraku's apprentice)

スウェーデン人落語家三遊亭じゅうべえ氏による講演と実演、質疑

【共催】講演会(主催:文学学術院文学研究科国際日本学コース 本部門共催)

2018年11月19日(月) 17:00-18:30 早稲田大学戸山キャンパス36号館382教室

「マンガを訳す 日本を訳す」講演者: Marc Bernabé氏(マンガ翻訳者)

スペイン人マンガ翻訳者マルク・ベルナベ氏による講演と質疑

【主催】対談(本部門主催)

11月26日(月) 10:40-12:10 (早稲田大学文学学術院キャンパス33号館第10会議室)

Demystifying the Work of a Writer: A Conversation About Literary Communities and Strategies for Productive Writing (創作の向こう岸にあるもの 作家と詩人の対話)

Conversation by Dr. Dan Vyleta (Writer and Senior Lecturer at University of Birmingham)

and Mr. Steven Karl (Poet and Lecturer at Waseda University)

作家・バーミンガム大学上級講師 ダン・ヴィレータ氏と詩人・早稲田大学講師 スティーブン・カール氏(本部門研究員)による対談と質疑

(※英国バーミンガム大学とのイベント Birmingham Dayの一環として開催)

#### 境界の溶解と再編をめぐる学際的研究

2018年6月19日(火) 早稲田大学戸山キャンパス33号館第10会議室

【主催】キックオフイベント「文キャン教員、ワールドカップを語る!!」

話題提供

金敬黙

国際スポーツにみる国籍とエスニシティ

宮田裕光

スポーツと武道—東西の“境界”

豊田真穂

ジェンダー論的にワールドカップ／近代スポーツを語る

ピタルク・パウ

サッカーと文学

2018年10月13日（土） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館7階702号室

【主催】 公開研究会企画「『強制不妊手術』と優生政策について考える」

報告：上東麻子（毎日新聞記者）

豊田真穂（文学学術院教授・ボーダー研研究員）

司会・コーディネーター：岡部耕典（文学学術院教授・ボーダー研研究員）

2018年11月15日（木） 早稲田大学戸山キャンパス 31号館208教室

【共催】 講演会「Telling Life Stories: Gender and Empowerment in Contemporary Women's Photography」

\*早稲田大学文化構想学部多元文化論系主催

講師：Anat Parnass（アナト・パルナス氏、写真家）

2019年2月19日（火） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館7階702号室

【主催】 研究会

話題提供：

金敬黙、宮田裕光、豊田真穂、由尾瞳、ピタルク・パウ、岡部耕典

2019年3月25日（月） 早稲田大学戸山キャンパス 33号館7階702号室

【主催】 研究会

話題提供：

石田光規、草柳千早、高井詩穂、森山至貴